

## 産学連携によるサービス・イノベーション研究

研究代表者	商学部 教授 西岡 健一
研究概要	<p>市場・競争環境の急速な変化により、企業経営において革新的な要素技術の開発のみならず、技術をイノベティブな商品・サービス開発へつなげる仕組み、またそれら商品・サービスの魅力を顧客に伝え、顧客と企業の間で価値を共創するための新しい仕組みが求められている。これはビジネスのサービス化という観点から、具体的には、（１）価値共創のためのビジネスシステムの構築、（２）グローバルな視点での消費者と企業間の新しいマーケティング・コミュニケーションの手法、が要請されることを示す。本研究機関は、様々な企業とのコラボレーションを通じて、これら（１）（２）の課題に対して、主にサービス開発の手法とマーケティング・コミュニケーションの手法を科学的な調査手法を元に開発し、関大モデルとして学際・実務に貢献することを目的としている。現在商学部で行われている教育プログラムにおいて、産学連携の仕組みとグローバルコミュニケーションを実践した知見を有効に活用することが課題となっているが、本プロジェクトのような学際的な横断ユニットを設置することが、学術・産業界両面の要請に応えるための現実的な良い方法の一つと考える。学外からは、不足しているマーケティング領域の専門家をアドバイザーとして迎えることにしている。</p>
学内研究員	商学部 教授 鮎野 仁子 商学部 教授 荒木 孝治 商学部 教授 中邑 光男 商学部 准教授 岡本 真由美
学外共同研究者	神戸大学 教授 南知恵子
設置期間	平成27年7月1日～平成32年6月30日
設置場所	総合研究室棟 4階 西岡健一研究室